

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 東海エレクトロニクス株式会社

上場取引所 名

コード番号 8071 URL <https://www.tokai-ele.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 慎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部本部長 (氏名) 森田 誠

TEL 052-261-3211

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,432	11.8	120	53.4	134	49.3	73	54.9
2019年3月期第1四半期	10,695	7.6	258	20.6	266	14.1	161	9.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 11百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 196百万円 (15.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	33.58	33.01
2019年3月期第1四半期	74.55	73.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	20,507	12,895	62.6
2019年3月期	20,885	13,019	62.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 12,836百万円 2019年3月期 12,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		52.00		52.00	104.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		52.00		52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	4.2	320	29.2	340	29.8	210	30.0	96.60
通期	42,000	1.1	800	3.7	850	1.1	540	3.0	248.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	2,360,263 株	2019年3月期	2,360,263 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	178,784 株	2019年3月期	186,384 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	2,174,428 株	2019年3月期1Q	2,172,860 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く一方で、米中間の貿易摩擦問題や中国市場の低迷などが世界経済に与える影響から減速懸念が高まるなど、景気の先行きについては不透明な状況となっております。

このような経済環境のもと、当社グループはシステムやソフトウェアの提案強化を目的に、マーケティング本部と技術本部の組織変更を実施しました。

マーケティング本部のシステム推進部は、技術メンバーを増員しI o T分野を中心としたソリューション提案の推進を強化する体制とし、エレクトロニクス推進部は、従来の電子デバイスに半導体デバイスの機能を統合したモジュール提案を強化する体制と致しました。技術本部は、ソフトウェア技術部が担当しているソフトウェアにハードウェアを組み合わせたソリューション提案活動を推進するソリューション開発部を新設しました。

また、2017年度を初年度とする中期経営計画(Value Innovation 2019：VI19)の最終年度を迎え、VI19のテーマである「1. 新たな価値創造 ～かけがえのないパートナーに～」、「2. より豊かな生活に、より良い環境作りに貢献 ～自動車、医療、環境・エネルギーなど社会・生活インフラへの注力～」の実現に向け、成長が期待される自動車、医療、環境・エネルギー、I o T・FA、ソフトウェアなどの各市場分野に対して、新しいソリューションを提案し付加価値向上に引続き努めてまいります。また、ソリューションプロバイダーとして国内外含めエンジニアリング機能を強化し営業・技術・品質面の体制強化に取り組んでまいります。

当社グループの業績における自動車分野ビジネスについては、欧米ではお客様の生産増加等により半導体デバイスの販売が堅調に推移しましたが、国内及び中華圏においてはお客様の生産減少や在庫調整の影響などにより、前年同期を下回る結果となりました。FA・工作機械分野ビジネスについては、米中貿易摩擦の影響により半導体製造装置や自動化設備などに対する設備投資が減少したことから、国内・海外ともに前年同期を下回る結果となりました。また、情報通信分野ビジネスにおいても、東南アジア圏を中心にOA機器向けデバイスの需要が減少したことから、国内・海外ともに前年同期を下回る結果となりました。

上記の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は94億3千2百万円（前年同期比11.8%減）となり、利益面においては営業利益1億2千万円（前年同期比53.4%減）、経常利益1億3千4百万円（前年同期比49.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7千3百万円（前年同期比54.9%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

○関東・甲信越カンパニー

医療分野においては、消費税増税前の投資意欲の高まりから電子デバイスの需要が堅調に推移しましたが、自動車分野においては、環境対応車向け高機能材料や電子デバイスの販売がお客様の海外生産移管の影響もあり減少したことに加え、FA・工作機械分野においても米中貿易問題による影響や中国市場の需要低迷などの影響を受け、売上高は7億8千万円（前年同期比16.9%減）となりました。

○中部・関西第1カンパニー

医療分野においては、眼科医療機器への電子デバイスの販売は堅調に推移しましたが、FA・工作機械分野においては、海外での有機ELやスマートフォン向け半導体製造装置関連などへの設備投資が減少したことに加え、環境分野においても住宅用高機能材料の販売が減少したことから、売上高は18億9千2百万円（前年同期比19.9%減）となりました。

○中部・関西第2カンパニー

自動車分野においては、マイコンなどの半導体デバイスの販売が中国向けを中心にお客様の在庫調整により減少しました。また、自然災害に備えたBCP（Business Continuity Plan）に対応する在庫確保のための販売について一定数量の在庫が確保出来たことから前年同期と比べ減少したことに加え、一部仕入先の商流再編の影響があったことから、売上高は39億2千2百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

○オーバーシーズ・ソリューションカンパニー

自動車分野においては、北米でのお客様の生産増加に伴い半導体デバイスの販売が増加したことに加え、欧州での半導体デバイスなどの取引が増加したことにより前年同期比増加となりました。一方、情報通信分野においては、OA機器向けデバイスの需要が東南アジア圏を中心に大きく減少したことに加え、中華圏において健康機器向けデバイス販売の減少が続いたことから、売上高は23億8千4百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

○システム・ソリューションカンパニー

航空宇宙分野においては国内の生産設備更新および開発評価設備投資が増加しましたが、FA・工作機械分野において、米中貿易摩擦の影響により中国への半導体設備関連、自動化設備関連の投資見送りなどの影響を受け、売上高は4億5千2百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は205億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7千8百万円の減少となりました。主な要因は、売上債権が3億1千2百万円、たな卸資産が2億1千3百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は76億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千3百万円の減少となりました。主な要因は、仕入債務が1億7千9百万円、未払法人税等が1億3千2百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は128億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千4百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益7千3百万円の計上があったものの、配当金の支払1億1千3百万円を実施したことにより利益剰余金が4千万円減少したことに加え、円高の影響により為替換算調整勘定が6千8百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月26日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,497,480	2,506,411
受取手形及び売掛金	7,224,141	6,774,413
電子記録債権	1,176,207	1,313,785
たな卸資産	5,479,255	5,265,939
その他	145,390	246,495
流動資産合計	16,522,474	16,107,046
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,902,985	1,902,985
その他(純額)	649,606	754,127
有形固定資産合計	2,552,591	2,657,112
無形固定資産	100,347	92,307
投資その他の資産		
投資有価証券	985,042	965,894
その他	725,102	685,147
投資その他の資産合計	1,710,145	1,651,042
固定資産合計	4,363,084	4,400,462
資産合計	20,885,558	20,507,509
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,790,283	3,873,486
電子記録債務	2,736,841	2,474,305
未払法人税等	163,166	30,211
賞与引当金	175,940	103,139
役員賞与引当金	98,686	22,759
その他	483,095	668,665
流動負債合計	7,448,012	7,172,568
固定負債		
退職給付に係る負債	396,406	397,935
その他	21,242	41,701
固定負債合計	417,649	439,637
負債合計	7,865,661	7,612,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,075,396	3,075,396
資本剰余金	2,511,009	2,511,009
利益剰余金	8,022,225	7,981,247
自己株式	△368,407	△353,385
株主資本合計	13,240,223	13,214,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,163	357,243
土地再評価差額金	△662,775	△662,775
為替換算調整勘定	△3,154	△71,817
その他の包括利益累計額合計	△292,765	△377,349
新株予約権	72,439	58,385
純資産合計	13,019,896	12,895,303
負債純資産合計	20,885,558	20,507,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	10,695,144	9,432,626
売上原価	9,331,084	8,233,727
売上総利益	1,364,059	1,198,898
販売費及び一般管理費	1,105,600	1,078,454
営業利益	258,459	120,444
営業外収益		
受取利息	1,721	3,319
受取配当金	9,025	11,807
仕入割引	2,515	2,131
不動産賃貸料	7,371	7,373
その他	1,719	1,514
営業外収益合計	22,353	26,146
営業外費用		
支払利息	1,372	2,289
売上債権売却損	1,765	2,568
為替差損	7,507	3,045
不動産賃貸原価	4,071	3,691
その他	3	1
営業外費用合計	14,720	11,598
経常利益	266,092	134,992
税金等調整前四半期純利益	266,092	134,992
法人税、住民税及び事業税	52,402	20,944
法人税等調整額	51,693	41,024
法人税等合計	104,096	61,968
四半期純利益	161,996	73,024
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,996	73,024

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	161,996	73,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,650	△15,920
為替換算調整勘定	68,093	△68,663
その他の包括利益合計	34,442	△84,583
四半期包括利益	196,438	△11,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196,438	△11,559
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に及ぼす影響はありません。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他(純額)」が107,452千円増加し、流動負債の「その他」が87,965千円及び固定負債の「その他」が20,883千円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	関東・甲信越 カンパニー	中部・関西第 1カンパニー	中部・関西第 2カンパニー	オーバース ーズ・ソリ ューション カンパニー	システム・ソ リューション カンパニー	計
売上高						
外部顧客への売上高	938,736	2,363,974	4,218,384	2,536,830	637,217	10,695,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	419,727	51,397	24,747	72,857	14,319	583,048
計	1,358,463	2,415,371	4,243,132	2,609,687	651,536	11,278,192
セグメント利益	57,601	106,624	190,534	22,564	50,818	428,143

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	428,143
セグメント間取引消去	10,679
全社費用(注)	△180,364
四半期連結損益計算書の営業利益	258,459

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					計
	関東・甲信越 カンパニー	中部・関西第 1カンパニー	中部・関西第 2カンパニー	オーバース ーズ・ソリ ューション カンパニー	システム・ソ リューション カンパニー	
売上高						
外部顧客への売上高	780,251	1,892,514	3,922,973	2,384,327	452,559	9,432,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	436,163	55,416	17,492	47,616	4,066	560,755
計	1,216,414	1,947,931	3,940,465	2,431,943	456,626	9,993,381
セグメント利益又は損 失（△）	43,420	58,615	154,612	△2,244	28,455	282,859

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	282,859
セグメント間取引消去	4,695
全社費用(注)	△167,110
四半期連結損益計算書の営業利益	120,444

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。